

---

## 倉田 悟 ケヒサカキ紀州に産す

S. KURATA : *Eurya japonica* var. *australis* HATS. from Kii Prov.

ケヒサカキは宮崎県南部以南の南九州から琉球列島の奄美群島に汎つて分布し、大隅半島には珍らしくない様で、佐多岬（大場秀章，1961年），高隈山（倉田悟，1957年），高山町高野国有林（同，1959年）などの標本が手元にある。さて，1960年の正月に紀州の尾鷲を訪れた際，若葉治・伊藤良の両氏が九鬼崎のヒロハノコギリシダ自生地へ案内して下さった。ウラジロの密叢にさんざん悩まされ乍らの帰り途に，このケヒサカキの自生に遭遇したのである。次の日に入つた九鬼のナメラ谷にも見出す事が出来た。一見，ヒサカキと殆んど区別の無いものであるから，今後，注意して採集すれば紀州及び四国あたりには広く発見されるのではなからうか。尚，ケヒサカキをヒサカキと別種にする考え方もあるが，私は変種説を支持したい。